

姫路市の離島いえしまにおける観光まちづくり

いえしまコンシェルジュ ○中西 和也

1. 活動方針・目的

- ・ 人口減少化社会における地方都市の自立を目指し、地域住民とともに”いえしま”を観光によって活性化する。

2. 活動内容

- ・ いえしまコンシェルジュは、姫路市の離島いえしまにおいて活動しています。
家島は漁業・採石・海運業で栄えてきましたが、景気の悪化、公共工事の縮減により地域経済が低迷、それに伴う急激な人口の減少が起こっています。これらは今後の日本の都市が直面する地域の課題です。
しかし、離島で育まれてきた独自の生活文化はほかの地域では見ることができない、少し不思議な魅力であふれています！
この魅力を伝えたい！！と思って活動しています。
- ・ 具体的には、島の魅力を伝える島あるきガイド。料理体験やカヌー体験など、島民の協力による体験プログラム。また、今後は空き家を活用したゲストハウスを展開します。

3. 他の活動団体の参考となる事例

- ・ 地域の人に協力してもらうために「自らが率先して動くこと」「役割を明確にすること」を意識しています。
体験プログラムを始める際には、まず個性的な活動に取り組んでいる協力者候補に当たりをつけます。そして協力者候補に、自らの考えや家島への思いを伝えると同時に、活動の魅力（都会から来た人にとって面白い点）を伝え、何をしてもらいたいかを具体的にお願いします。

4. 今後の課題等

- ・ 活動の趣旨に賛同する人たちに向けた効果的な広報の手段・集客について課題を抱えています。まだまだ知名度・認知度が低いため、向上させて集客につなげたいが、わかりやすい観光ではないので、誰しもが楽しめるわけではない。来てもらいお客さんは、「田舎であることを楽しめる人」「地域の人と体験プログラムを楽しめる人」「地域の課題に興味を持っている人やまちづくりに興味のある人」。



姫路市の離島いえしまにおける 観光まちづくり

いえしまコンシェルジュ
中西 和也

1. いえしまコンシェルジュについて

いえしまコンシェルジュについて

■所属人数 11名

■活動期間 2009年10月から活動

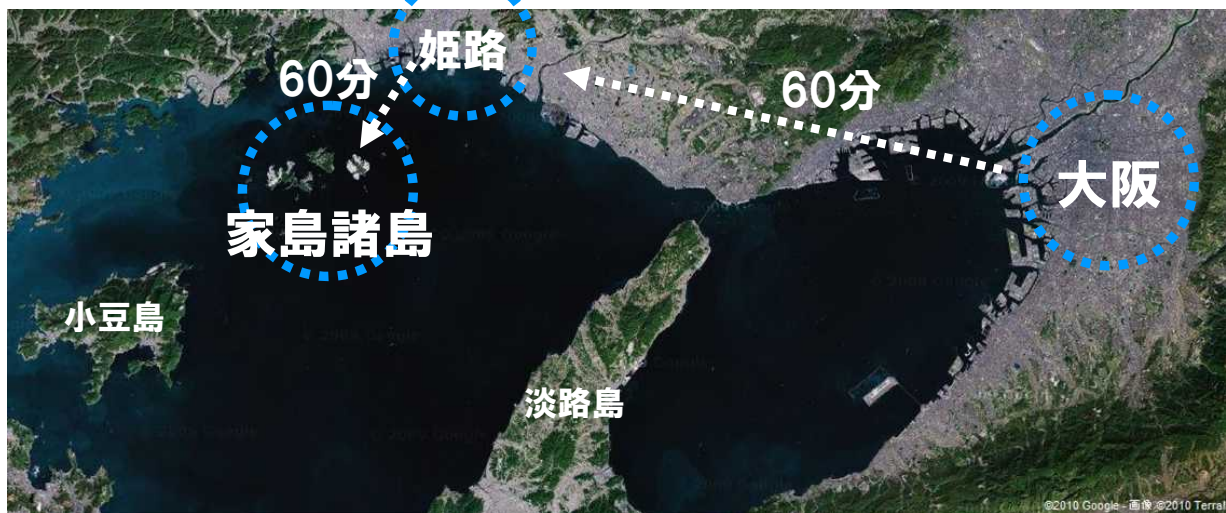
■活動内容

いえしまの情報発信、島あるきを核とした観光コーディネート
中西が2011年4月に大阪から移住し、事務局を務める



2. いえしまについて

いえしまについて



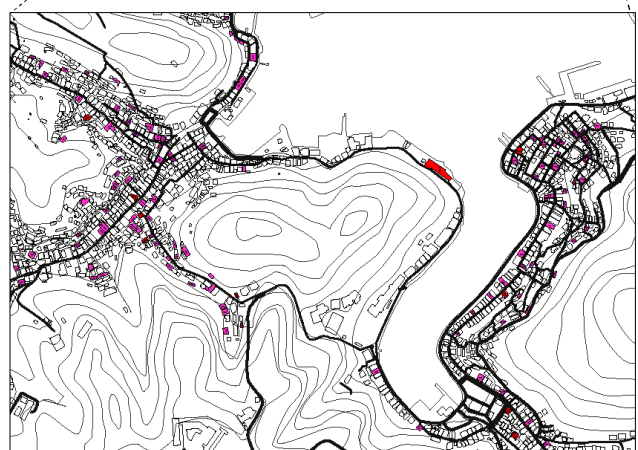
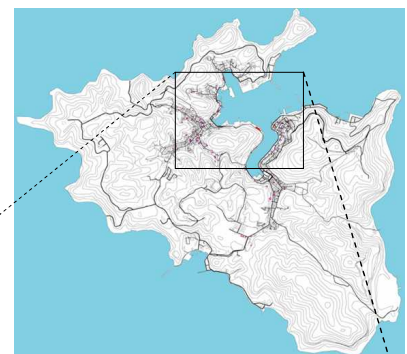
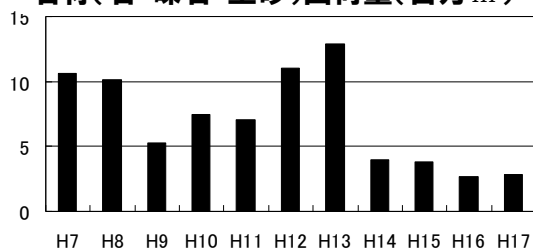
いえしまの課題

- 採石・海運業の衰退、人口の流出減少
- 新たな産業の必要性 → 観光振興

家島地区の人口(単位:人)



石材(石・礫石・土砂)出荷量(百万 m^3)



島内の空き家 130軒

いえしまで活動する地域団体

■NPO法人いえしま



NPO法人いえしま



開発した特産品の一例

■島の実工房



都市住民との料理体験教室



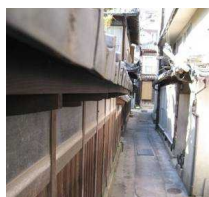
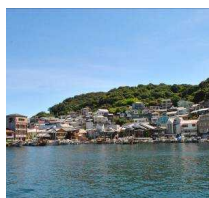
島の食材を使った料理

いえしまの魅力

新鮮な魚介類



豊かな自然の風景



ユニークな人



本当のいえしまの魅力とは？

「島の日常は、都会の非日常」







複合的な要素が重なった“島の生活そのもの”が魅力

3. 現在の取組み

現在の取り組み

■「いえしまガイド」2011年10月～

外からの視点で見た島の面白さ・背景を紹介

→ガイドだけでなく、「島の人が実施する体験プログラム」を追加
島ならではの体験プログラムを実施

■「いえしまの情報発信・PRイベント」2010年4月～

いえしまの知名度向上

→ホームページ、twitter、facebookでの情報発信
姫路市や島内でのイベント実施







現在の取り組み

- 「いえしまガイド」(まちあるきガイド)2011年10月～
外からの視点で見た島の面白さ・背景を紹介

→ガイドだけでなく、「島の人が実施する体験プログラム」を追加
島ならではの体験プログラムを実施

- 「いえしまの情報発信・PRイベント」2010年4月～
いえしまの知名度向上

→ホームページ、twitter、facebookでの情報発信
姫路市や島内でのイベント実施



取組みの成果

■実績

2012年には500名以上を案内

■顧客について

関西圏が8割 関東からもあり

7割が女性

夏がハイシーズン

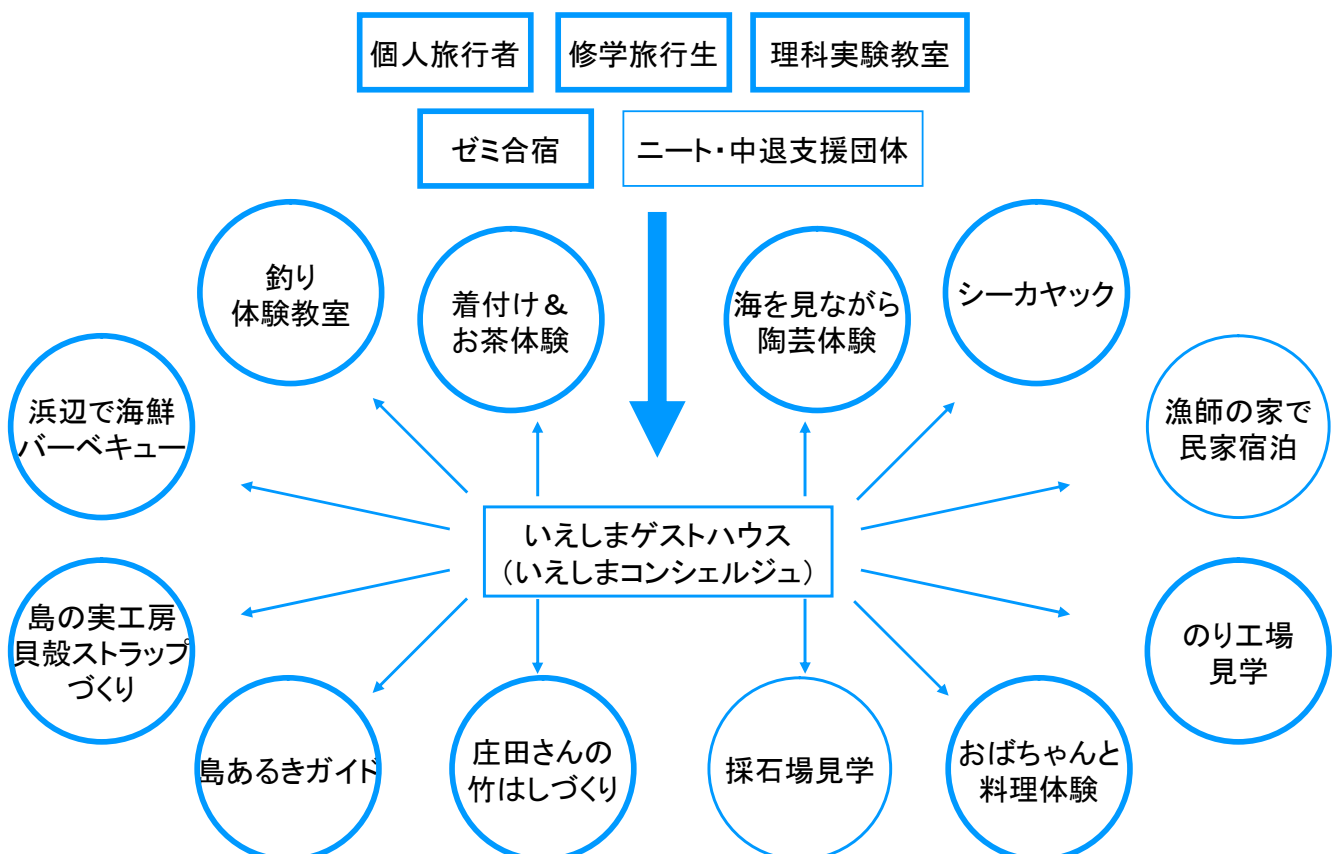
■提供しているサービス・価値

暮らしのなかの非日常性

島の生活を通して、自らの生活や人生を顧みる機会

4. 今後の展望と事業計画

家島まるごと生活体験





おわりに. 取組みを通してわかってきたこと
～まちづくりの正体～

おわりに

～まちづくりの正体～

大学時代から、まちづくりに関わりたいと思っていた。

「人を巻き込んで、人を動かして、人にやってもらいたい。」
から

「自分がこういうことをしたいので、手伝ってほしい。」

“僕が”いえしまを好きだから、住んでいたい。

そのために島外の人を対象に地域の人とお金を稼ぐ。

それを継続することが「まちづくり」につながる。

